



第8回・都市整備部 (伊豆長岡庁舎内)

インタビューの内容

- Q1. 合併後の業務は順調に行われているか?
- Q2. 今後実施する大きな事業、または課題は?
- Q3. 市民の皆さんに一言

伊豆の国市の行政窓口をご紹介するこのコーナー。今回ご紹介する都市整備部(二藤武司部長)は、都市計画課、建設課、上下水道課の3課で構成されており、伊豆長岡庁舎1階にあります。現在の状況を、各課長にインタビューしてきました。

都市計画課

電話 055 948 2909 (課長1人、課員5人)

主な仕事
都市計画、土地利用、建築確認、公園整備、区画整理など



守木地区では、地主の協力を得て、都市計画に基づく区画整理を実施

- A1. 合併により行政区域が広がったため、職員が旧出身町ではない地区のこゝろに戸惑い、電話や窓口で迅速な対応ができない場面はありますが、早く地名を覚えて慣れるよう努力しています。市になって業務量も増え、また新たに所管するようになった業務もありますが、順調に業務を行っています。
- A2. 市の都市計画マスタープランやみどりの基本計画を作っていきます。各地域の特色を活かし自然環境を守りながら、現在ある多彩な資源や土地利用をうまく融合した計画にするため、多くの皆さんの声を聞きたいと考えています。
- A3. 伊豆の国市を今よりもっと住みやすいまちにするため、皆様のご意見をお待ちしています。また、都市計画についての疑問等がありましたら、お気軽にお問い合わせください。(回答: 課長 杉山 清)

建設課

電話 055 948 2908 (課長1人、課員7人)

主な仕事
道路河川の新設改良・管理など

- A1. 今年は災害(1)もあり、予定より少し一般工事の発注時期が遅れていますが、おおむね順調です。先月、災害査定(2)も無事終了しました。
(1)...8月25日の台風11号により、葦山地区で2カ所被災。
(2)...市が災害復旧工事をするための補助金を、国からもらう審査。
- A2. 水害対策が一番の課題です。来年度以降は水害対策費を優先し、一方では国・県にも要望活動を続け、水害のない伊豆の国市を作っていきます。また、来年度から、葦山~大仁間をつなぐ市道の拡幅工事も進めていく予定です。
- A3. 道路工事などで、一時的に通行に支障がでることがあるかもしれません。安全には配慮していますが、通行の際は十分注意してください。また、市の工事や道路・河川占用、官民境界確認などのお問い合わせはお気軽にどうぞ。
(回答: 課長 田中敏幸)



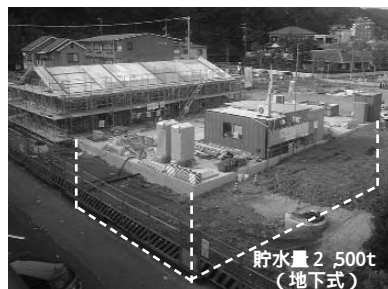
台風11号による災害査定を受けた市道葦1115号線(葦山山木)

上下水道課

電話 055 948 2911 (課長1人、課員9人)

主な仕事
水道検針・料金徴収、下水道料金・受益者負担金徴収、施設管理、水質検査など

市全域に安定したおいしい水を供給するため、神島水源の水を江間に供給する古奈配水池を建設中



貯水量2,500t (地下式)

- A1. 上下水道料金のメーター検針や納入通知書発行業務は、旧町時代、それぞれ違う時期にデータ処理をしていましたが、新市においても同様の方式で処理しているため、職員の事務量が膨大になりました。また、水道事業は各地区ごとに特色があるため、調整を図るのに苦慮しています。
- A2. 水道事業の料金体系については、新市になった現在も、各地区ごと従来の料金で運営していますが、今後は、市全体の経営を把握し、将来計画や財政運営を見極める期間を置いた上で、適正な価格を定めて統一料金を目指していきたいと考えています。
- A3. 水は限られた資源です。大切に使いましょう。また、下水道は、公共水域の水質保全、生活環境の改善に大きな役割を果たしています。下水道の整備地区にお住まいでまだ下水道に接続されていない人は、早めの接続をお願いします。
(回答: 課長 塩谷昭一)

今回は会計課・議会事務局を紹介します。

いずのくにの女ひと

このコーナーでは、伊豆の国市内に住む、働くまたは縁のある輝いてる皆さんを紹介していきます。

今回は、大仁警察署交通課に勤務する、交通安全指導員の緒方梨江さんを紹介します。



緒方 梨江さん(大仁勤務)

「警察官である父のすすめでこの仕事を選びました」という緒方さん。交通安全指導員は警察署に勤務しますが、警察官と違い、主に子供やお年寄りなどの交通弱者を交通事故から守るのが仕事。交差点や横断歩道で街頭指導を行ったり、交通安全教室を開いたりしています。「はじめたころは、朝早いのがつらかったですね。今はもう慣れました」。所属は県の交通安全協会なので、市が任命する交通指導員とも違います。「市の交通指導員さんたちは、地元の人なので顔が広く、教室などで寸劇をやってくれたり、とても助かっています。心強い存在です」。仕事をしていた嬉しかったことは、「教室終了後に、子

供やおじいちゃんに『わかりやすかったよ』と誉められたこと。この仕事は、いろんな人に感謝され、とてもやりがいがあります」。十二月は一年のうちでも事故が多い時期。十五日(木)から、年末の交通安全県民運動がはじまります。「師走は、忘年会などお酒を飲む機会が増えますが、『飲むな車は運転しない!』を徹底しましょう。またこの時期は、夕方暗くなるのが早いのので、ドライパーは早めの点灯を心掛け、歩行者も明るい色の服や反射材を身につけるなど、自己防衛に努めましょう。お互いが気をつけることが交通事故防止への近道なんです」。皆さん、肝に銘じましょう。

みんなでチャレンジ! 広報クイズ

毎月、正解者の中から抽選で10人に図書券(500円分)をプレゼントします。皆様のご応募お待ちしております。【応募方法】はがきにクイズの答えと住所、氏名(フリガナ)、年齢(学年)、職業、電話番号、身近な話題や感想、ご意見などを書き添え、12月12日(火)までに下記へお送りください。いただいたご意見などは、広報で紹介させていただく場合もあります。
あて先 〒410 2292 長岡 340 1

伊豆の国市 企画部 総合政策課

【先月の答えと当選者】答えは「下駄供養祭」。正解者は、57 / 57 人でした。当選者は次の皆さんです。
【当選者: 敬称略】平田八朗、杉山美津子、宮本剛志、松下由津樹、大川英一、西島安代、小沢章二、銚ノ原壮史、田村義弘、牧野五三子

《今月の問題》

熟語になるように真ん中に漢字を1つ入れてください。上から読むとある言葉になります。

例

越 冬 至
越冬 冬至

掃 雪

深 景

の

警 楼

答えは の

ヒント: 百八の煩惱を除く意を込めて...